

申請者氏名 東日本 支部 良導絡 太郎

更新手続用

(良導絡永久認定医・師・良導絡専門医・良導絡専門師・良導絡認定医・良導絡認定師)

| | | | | | | | |
|----------|---|------|------|---|-----|------|--|
| 症例番号 | 1 | 患者年齢 | 39 才 | 患者仁シナル | S・M | 患者性別 | <input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 |
| 治療期間 | 平成 18 年 7 月 29 日 ~ 平成 18 年 9 月 1 日 | | | 13 回 | | | |
| 診断 | 後頭神経痛 | | | 処方または取穴 上天柱(XT)完骨(F5-32)肩井(F5-24) 脾俞(F4-20)崑崙(F4-8)俠谿(F5-2) 養老(H4-6)中口(VM11)足三里(F6-10) | | | |
| 主訴 | 頭痛 | | | | | | |
| 既往症 | 特記なし | | | | | | |
| 家族歴 | 父糖尿病 | | | | | | |
| 診察所見/現病歴 | 8月19日PM2時頃から頭痛、寝ていても痛い、後頭部右大後頭神経にそって圧痛、肩こり、下痢、食欲不振、動悸あり、1週間1度発作的に起こるが嘔吐・メマイはない、脾虚症と思われる。 | | | | | | |
| 医学的所見 | 血圧128/80HG、病院CT検査も異常なし、 良導絡チャトでH4（小腸）↑興奮F4（膀胱）↑興奮で頭痛パツンが出現し、F1（脾）の↓抑制で消化器系に異常を起こしているものと思われる。 腹診にて腹直筋が緊張、舌診蒼白にして中央に縦のシがあり、脈沈弱 | | | | | | |
| 治療/経過 | 全良導絡調整V型。興奮点抑制点治療。上天柱(XT)完骨(F5-32)肩井(F5-24)脾俞(F4-20)に低周波置針療法3HZ15分。崑崙(F4-8)俠谿(F5-2)養老(H4-6)中口(VM11)足三里(F6-10)に置針15分。 外後頭隆起外方2.5cmの大後頭神経に響くように直流電気鍼200マイクロアンペア7秒通電を行った。13回治療。良導絡チャト改善、以後頭痛はない。 | | | | | | |
| 考察 | 頭痛の原因は血管性、筋緊張性、群発性、神経性の他、眼科、耳鼻科、歯科、婦人科、脳外科、整形外科などが関係し、急性慢性に分類される。 頭痛の治療に百会(VM20)前方に針先を向けて皮下刺、風池(F5-25)方向は対側の目に向けて刺入、後頭神経痛は小後頭神経、大耳介神経を伴う事が多い、後頭神経はC2から出る神経で知覚支配領域は、側頭後頭の総体にわたっている上天柱(XT・天柱の上)完骨(F5-32)のほか頤の反応良導点を検索治療したことにより効果があったものと思われる。 | | | | | | |